

## 1 活動のねらい

自然に親しむとともに、日常生活では体験できないことをとおして、新しい発見や感受性を育みます。

## 2 活動の概要

自分たちでドラム缶を設置し、水を張ります。火を起こしてお湯を沸かし水着に着替えてお風呂に入ります。

## 3 人数・時間・場所

- (1) 人数 少人数
- (2) 対象 幼児以上
- (3) 期間 夏季限定
- (4) 時間 1.5～3時間程度
- (5) 場所 南部曲り家周辺



## 4 料金

ドラム缶1台あたりの薪代1,930円（焚き付け薪250円×1束 小割薪560円×3束）  
※薪持参の場合は料金がかかりません。

## 5 指導について

活動は、交流の家職員説明後、団体の自主活動になります。

## 6 準備する物

| 区 分  | 内 容                 |
|------|---------------------|
| 団 体  | ・水着 ・タオル類 ・サンダル     |
| 交流の家 | ・ドラム缶 ・脚立 ・ホース ・バケツ |

## 7 活動の流れ

- ① 交流の家職員がドラム缶風呂などの用具を貸し出し、設置の仕方等を説明します。
- ② ドラム缶を設置し、ホースでドラム缶に水をくみます。
- ③ 水がたまったら、火を焚き、お湯を沸かします。（3時間程度）
- ④ 曲り家内で水着に着替え、お風呂に入ります。（幼児なら3名程度同時に入浴できます。大人は1名まで）  
※入浴する際、板の上に乗ってドラム缶の底に足が付かないようにします。  
※ドラム缶の縁は熱くなりませんので触ることが可能です。  
※脚立に登って入浴します。  
※幼児は指導者が抱えて板がまっすぐ沈むように入浴させてください。
- ⑤ お湯が熱くなるのでバケツを用意しておき、熱くなったお湯をくんで、ホースで水を入れながら湯加減を調節します。
- ⑥ 火を消し、灰を灰捨て場に捨てます。ドラム缶の水抜き栓を開き、水を流します。
- ⑦ 南部曲り家を退所する際、職員と一緒に片付けをします。

# 「ドラム缶風呂」の準備

## ① 土台を準備する。

野外炊事用の鉄板の周りにブロックを並べる。

- 鉄板の端をブロックで押さえるように置くと、ドラム缶をのせるのにちょうどよい幅になる。

- ブロックの穴が風を通すように向きに気をつける。



## ②ドラム缶をのせる。

ドラム缶をのせた際に少しぐらついても、水を入れると安定する。

- ドラム缶は、曲り家の小屋の窓から出し入れする。

## ③ドラム缶に水を入れる。

ドラム缶の下から 2 本目の線の少し上くらいまで水を入れる。

- ホースは曲り屋の中。
- 水道は、曲り家の側面。
- ドラム缶の下の方に付いているコックを上に向ける。(まっすぐにすると水が抜ける)



#### ④風呂に入るために必要な物の準備

- バケツ4個程度(バス車庫倉庫内)
- 踏み台(曲り家 倉庫内)
- ピンクのスノコ(曲り家 外壁に立て掛け)

注)薪をくべる前には、何も置かないように。



#### ⑥ドラム缶お風呂の入り方

- 1) 踏み台に上り、ドラム缶の縁を持つ。

注)縁は熱くない

- 2) 湯面に浮かんでいる板を両足で静かに踏みつけながら湯槽につかっていく。

注)片足ずつだと板が水平に沈まない。

ドラム缶の底は熱い

- 3) お湯をこぼさないように気をつける。

注)お湯がこぼれると火が消える。



- 背の低い子どもは、1人で浴槽につかるのが難しいため、浴槽の出入りには大人の補助が必要。
- 浴槽に入れる人数は、子どもで2人程度。幼児等の場合、3人まで可能な場合があります。

#### ⑥湯加減の調整の仕方

- 1) 熱くなったらお湯をバケツにくみ、水を足す。
- 2) お湯が冷めたり減ってきたら、バケツにくみ置きしているお湯をドラム缶に戻す。

注)常に薪を焚いているため、時間がたつほどお湯が熱くなる。

